

◆研修会特集◆ 2. 事例報告

司書資格取得を試みて

井土 康子

I. 司書資格取得のきっかけ

私が司書資格を取得したのは、今から3年ほど前の2013年3月です。その前年2月半ばに資格がなくても構わないと、以前病院の人事課にパート勤務していた縁で、図書室勤務のパートに採用されました。

採用されて喜んだのもつかの間、勤務初日、当時の人事課長に、「資格があれば長期で採用しやすいのだが」と言われ、さらに前任者は3月中に有給休暇を消化して辞めてしまうことが判明しました。

まったく関わったことがない仕事、その上、教えてくれる人もいないという状況に追い込まれ、「それならば司書資格の取得だ!」と短絡的に思った次第です。

II. 資格を取れば、仕事ができる?

当初、この資格を取れば仕事ができるようになると単純に思い描いたのですが、実際は取らないよりは、勉強した分少し理解が深まる程度でした。図書館とはどういうものかなどはわかりましたが、資格はあくまでも資格でしかなく、実務ではほとんど役に立ちませ

んでした。むしろ、仕事を進めるうえで一番役に立ったのは、日赤図書室協議会のマニュアルではなかったでしょうか。

III. 資格を持つ利点は?

司書資格を持っていて良い点とは何でしょう。すぐに思いつくものとしては、自分をアピールできる。転職に有利。この辺が一番でしょうか。例えば今回のような研修会や他団体との交流の際に、自信をもって参加できるような気がしませんか?とはいえ、実際は誰も、「資格をお持ちですか?」などとは聞いてくれませんので、あまりアピールする機会もありませんが、心持ちは違ってきます。

また、私のように、仕事にプラスになると考えていらっしゃる方もいるのではないのでしょうか。これは、繰り返しになりますが、ゼロではありませんが、仕事が多少なりともできるようになるには、経験しかないように思います。医師たちがほしいという文献がどこにあるか、どこに頼めばより早く手に入るか、もしくは一般公開されているのか、ということは、何度も文献を探して、情報を蓄積していくしかありません。その上、頼られる司書を目指そうとすると、やはり利用教育や代行検索ができるようになる必要がでてきます。そのためには普段から講習会に参加したり、自分で勉強していくしかありません。

IZUCHI Yasuko

武蔵野赤十字病院 医療情報管理課

TEL : 0422-32-3111 FAX : 0422-32-3525

tosho@musashino.jrc.or.jp

IV. 資格を取得するには

このように話を進めてくると、司書資格を取る必要はないという結論にいたってしまいましたが、私自身は取得してよかったと思っています。普段、専門知識を持った医師や看護師の人たちと仕事を進めるうえで対等な立場で意見を言えるのは、ひそかに司書という資格を持っているからだと思自負しています。そもそも自分の仕事について勉強をすることは良いことですから、少しでも取得してみてもいいかなと思った方は、即講座に申し込みをされることをお勧めします。

この司書資格は通信教育でも取得できます。大概4月開校ですが、他の時期にスタートできる大学もあります。また、費用もさまざまですし、数日間必ず、直接講義を受講する必要があるスクーリングと言われるものは、その開催地もさまざまです。ご自分の最適な講座をぜひ探してみてください。そしてその勢いで、申し込んでみてください。

V. 通信教育の実際

私の体験を少し書かせていただきます。

私が申し込んだのは、東京在住にもかかわらず、近畿大学の通信講座です。4月開校で

費用は1年間に授業料等として約10万円、1年間で取得できないと学習継続には、半年間15,000円・1年間30,000円の在籍延長料が必要です。また入学より2年間で修了できない場合には、あらためて入学手続き（再入学）が必要ということでした。このことにより、何が何でも1年間で取得しようという心づもりが決まりました。このほかテキスト代や原稿用紙代、テスト代などが加算されて順調に行っても大体13万円くらいになります。決して安くはなく、私のパート代1月分が軽く吹き飛ぶ金額でした。しみじみ、大学時代遊びほうけていないで、取得しておけばよかったと思いました。

そして履修科目は、選択2科目を含め、13科目でした。まったく勉強から遠ざかっていた身としては、これも多いと感じました。最短6か月で取得できますと謳っている講座もありますが、短い期間で資格取得することはなかなか難しいです。参考までに八洲学園大学の資格取得までの期間が公開されているので見ていただくとわかりますが、半年で取得できた人は全体の32%、1年以内で取得できた人は60%くらいしかありません（図1）。

具体的にどのように勉強を進めるかという

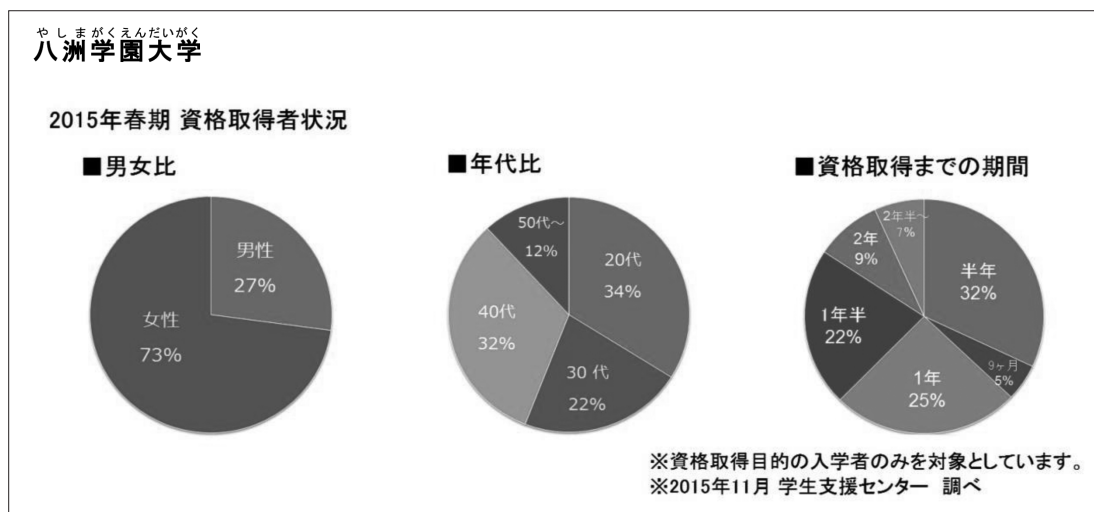


図1 八洲学園大学における司書資格取得状況

ますと、200ページくらいのテキストを読み、指定枚数のレポートを作成し、提出。それに合格すると、東京で開催される約2か月に1度のテストを受けて合格し、初めて1科目修了となります(図2)。これを繰り返すので

分類 (甲群・必修科目)	科目名	単位数	修了要件	
基礎科目	生涯学習概論	2	22 単位	
	図書館概論	2		
	図書館情報技術論	2		
	図書館制度・経営論	2		
図書館サービスに関する科目	図書館サービス概論	2		
	情報サービス論	2		
	児童サービス論	2		
図書館情報資源に関する科目	情報サービス演習	2		
	図書館情報資源概論	2		
	情報資源組織論	2		
情報資源組織演習	情報資源組織演習	2		
	分類 (乙群・必修科目)	科目名		単位数
	選択科目 (2科目選択)	図書館基礎特論	1	2 単位
図書館サービス特論		1		
図書館情報資源特論		1		
図書・図書館史		1		
図書館施設論		1		
図書館総合演習		1		
図書館実習		1		

図2 司書資格履修科目

すが、これだけなら、それほど大変と感じないかと思います。しかし、修了のテストを受ける前にはレポートの合格が必要で、そのレポートが返ってくるまでになんと最短3~4週間かかります。やっとテストにこぎつけても、テストは1回に3科目までしか受験できません。東京開催のテストは年に5回しかないなのでそこで受けようすると、1か月のうちに最低3教科のレポートを仕上げ、1回の試験に2~3科目受験しないと2年間で修了できない計算になります。本当に時間が足りません。レポートとテストは、可能な限り1発合格していかなければならないのです。

またスクーリングと言われる授業も難敵で、私は土日を含んだ連続3日間授業を2回取ったのですが、授業中の小テストや課題を提出できないと、講座終了となりません。その上、そのスクーリングも1年間の内で近いところで受けようすると、3回ほどしか機会がないのです。もちろん、大阪まで行けば、試験の機会は倍になりますが、そうそう仕事を休めませんし、そもそも旅費がかかります。

結局、私はレポートを4回も落とし、テストは1回落ちました。余裕を持った、1年資格取得計画を立てていましたが、そうはうまくいかず、最後までドキドキでした。というのも、実は、2月の試験が東京開催の最後だったのですが、このときまだ1教科修了しておらず、もしこれが受からなかったら、延長になってしまうと不安でたまりませんでした。幸い、2月の試験に合格し、無事に司書資格をもらった時には、本当に泣きそうなくらいうれしかったです。われながらよく1年で司書資格が取れたと思っています。

けして順調とは言いがたい資格取得でしたが、このときが、人生で一番勉強した時期のような気がします。教科書を読み、レポート提出や試験のために、夜中までパソコンにしがみつき、教科書だけでは分からない時はその解説や添付資料を探し、ほとんど利用していなかった地元の図書館にも通い、持てる時間すべてを費やしました。当然、家族にもたくさん迷惑をかけました。それだけに、こんなにうれしいと思えた資格は初めてでした。

VI. 自分を高めるために

みなさん、せっかく図書室勤務になったのです。司書資格がなくても仕事はできますが、ぜひ自分自身の能力を高めるためにも、資格

をお持ちでない方は司書資格を取得してみてください。図書室のことを勉強する良い機会になるはずです。

ちなみに図書に関する資格は他にもあります。日赤図書室協議会員の中には、日本医学図書館協会の「ヘルスサイエンス情報専門員」

の資格を上級までお持ちの方もいますし、またそれを目指して頑張っている方もいます。資格がすべてとは思いませんが、頼られる図書室員を目指し、図書室の勉強と一緒に続けていきましょう。